

Visual Expand Module

AT-VEM35
MADE IN JAPAN

ver 1.00.xx

USERS MANUAL

Expand



警告 安全のために必ず守って頂きたい事。守らないと生命に危険、または重大な傷害につながる恐れがあります。



警告 ●装着作業の際、必ずバッテリーの（－）端子を外して作業してください。接続したままの作業は配線がショートすることがあり、感電の恐れや車輛破損の原因となります。



注意 ●純正部品の取り外し、取り付けは整備要領書に従い、正しく行ってください。
●配線の結線などの取付は確実に行ってください。ショートや感電の恐れ、車輛破損またはトラブルの原因となります。
●誤配線やショート、静電気により機器の故障、破損や感電する場合がありますので細心の注意の上作業を行ってください。
●取り付けた配線などは定期的に点検してください。点検を怠ると重大な事故や故障、トラブルの原因となります。
●取り付けは安全を確保した上で確実な作業を行ってください。
●万一異常が発生した場合、直ちに車輛を安全な場所に停止させ、電源を切り異常箇所を確認・点検を行ってください。

取付販売店へのお願い：本取扱説明書は、必ずお客様にお渡し下さい。

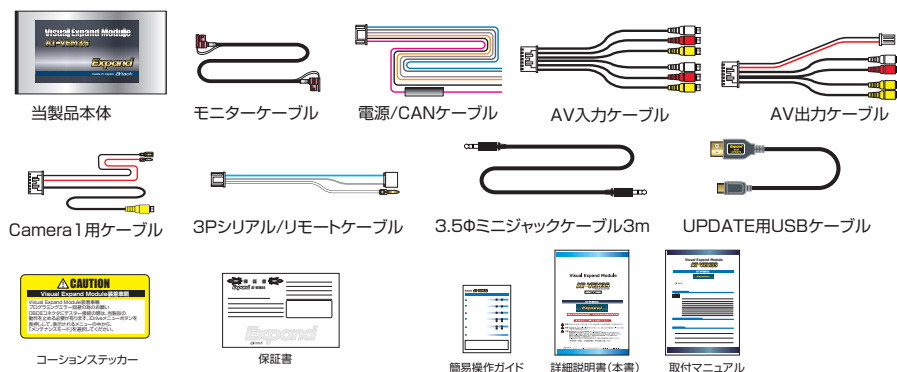
もくじ

- 1 もくじ、製品情報、同梱内容
- 2 VEMのMENU設定での操作方法について
- 3 AV1、AV2、HDMI入力について
- 4 Camera1リモート入力について
- 5 Camera2リモート入力、リバースアクションについて
- 6 リヤモニター出力、電源出力について
- 7 セーフティ機能、オペレートモードについて
- 8 外部映像2系統同時表示について
- 9 メンテナンスモード、UPDATEモードについて
- 10 地デジチューナーのコントロール(データシステム)
- 11 地デジチューナーのコントロール(パイオニア/ユニデン)
- 12 地デジチューナーのコントロール(パナソニック)
- 13 地デジチューナーのコントロール(ヒューマックス)
- 14 地デジチューナーのコントロール(d'sGear)

製品情報

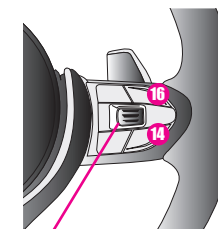
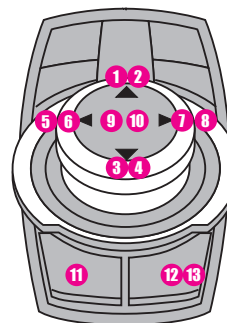
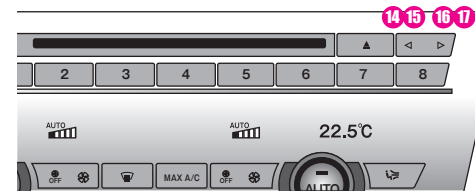
- AV機器やCamera映像を、iDriveモニター上に表示させる為のユニットで、沢山の機能を搭載しています。入力は、AV1、AV2、HDMI、Camera1、Camera2を装備しています。リヤモニター出力には純正映像の出力にも対応しています。ディーラー向け以外の製品では、純正セーフティ機能を解除する機能も搭載しています。多機能ですが、判り易いOSDメニューを用意しています。画面上で各種設定が行えます。外部映像を同時に2系統表示する事が出来ます。詳細は各入力の説明ページを参照してください。

商品構成

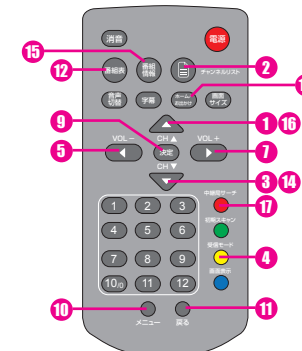


地デジチューナーのコントロール(D's GEAR)

- 地デジをFULL画面で表示中、及びエキスパートモードで使用中は下記の操作が車輻スイッチで行えるようになります。エキスパートモード以外では、純正画面と2画面表示の場合は、純正操作を優先している為、iDriveコントローラーでの地デジの操作は停止します。オーディオ部の左右ボタンは有効ですのでチャンネル操作は可能です。



UP 選局 ↑ ボタン信号
DOWN 選局 ↓ ボタン信号



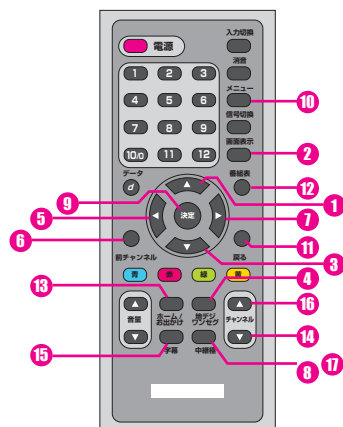
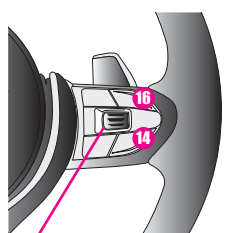
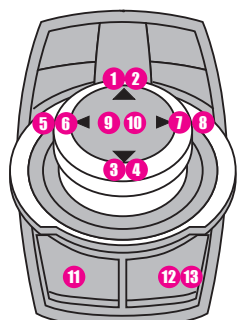
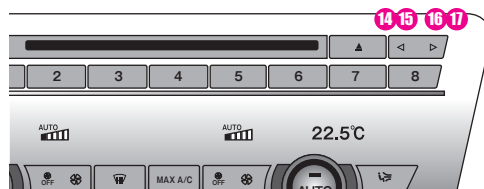
ダイヤル↑スライド	1	短スライド	リモコンの↑ボタン信号
ダイヤル↑スライド	2	長スライド	チャンネルリストボタン信号
ダイヤル↓スライド	3	短スライド	リモコンの↓ボタン信号
ダイヤル↓スライド	4	長スライド	受信モードボタン信号
ダイヤル←スライド	5	短スライド	リモコンの←ボタン信号
ダイヤル←スライド	6	長スライド	
ダイヤル→スライド	7	短スライド	リモコンの→ボタン信号
ダイヤル→スライド	8	長スライド	
ダイヤルプッシュ	9	短押し	リモコンの決定ボタン信号
ダイヤルプッシュ	10	2回連打	リモコンのMENUボタン信号
BACKボタン	11	短押し	戻るボタン信号
OPTIONボタン	12	短押し	番組表ボタン信号
OPTIONボタン	13	長押し	ホーム/お出かけボタン信号
オーディオ部←ボタン	14	短押し	リモコンの↓ボタン信号
オーディオ部←ボタン	15	長押し	番組情報ボタン信号
オーディオ部→ボタン	16	短押し	リモコンの↑ボタン信号
オーディオ部→ボタン	17	長押し	中継局サーチボタン信号
ステアリング部↑ボタン	16	1クリック	リモコンの↑ボタン信号
ステアリング部↓ボタン	14	1クリック	リモコンの↓ボタン信号

青系の背景部分の操作はFULL画面表示時、エキスパートモード時のみ有効です。

ステアリングスイッチ部で操作しますと、メーター内に純正操作内容が表示される仕様となっています。FULL液晶メーターパネル装備車輻は、タコメーター部に表示されますのでその間タコメーターが消えます。

地デジチューナーのコントロール(ヒューマックス)

- 地デジをFULL画面で表示中、及びエキスパートモードで使用中は下記の操作が車輻スイッチで行えるようになります。エキスパートモード以外では、純正画面と2画面表示の場合は、純正操作を優先している為、iDriveコントローラーでの地デジの操作は停止します。オーディオ部の左右ボタンは有効ですのでチャンネル操作は可能です。



ダイヤル↑スライド	1	短スライド	リモコンの↑ボタン信号
ダイヤル↑スライド	2	長スライド	画面表示ボタン信号
ダイヤル↓スライド	3	短スライド	リモコンの↓ボタン信号
ダイヤル↓スライド	4	長スライド	地デジ/ワンセグボタン信号
ダイヤル←スライド	5	短スライド	リモコンの←ボタン信号
ダイヤル←スライド	6	長スライド	前チャンネルボタン信号
ダイヤル→スライド	7	短スライド	リモコンの→ボタン信号
ダイヤル→スライド	8	長スライド	中継局ボタン信号
ダイヤルプッシュ	9	短押し	リモコンの決定ボタン信号
ダイヤルプッシュ	10	2回連打	リモコンのMENUボタン信号
BACKボタン	11	短押し	戻るボタン信号
OPTIONボタン	12	短押し	番組表ボタン信号
OPTIONボタン	13	長押し	ホーム/お出かけボタン信号
オーディオ部←ボタン	14	短押し	チャンネル↓ボタン信号
オーディオ部←ボタン	15	長押し	字幕ボタン信号
オーディオ部→ボタン	16	短押し	チャンネル↑ボタン信号
オーディオ部→ボタン	17	長押し	中継局ボタン信号
ステアリング部↑ボタン	18	1クリック	選局↑ボタン信号
ステアリング部↓ボタン	19	1クリック	選局↓ボタン信号

青系の背景部分の操作はFULL画面表示時、エキスパートモード時のみ有効です。

ステアリングスイッチ部で操作しますと、メーター内に純正操作内容が表示される仕様となっています。FULL液晶メーターパネル装備車輻は、タコメーター部に表示されますのでその間タコメーターが消えます。

VEMの詳細設定、操作方法

- 当製品を正しく動作させる為、詳細設定で各機能を設定してください。各種設定の中には、外部機器接続に伴う設定項目も沢山含まれています。そのような部分の設定を変更してしまうと、外部機器が希望の動作とならなくなる恐れがあります。
※「インストーラー以外、変更しない事をお勧めします。」と記載している部分は十分ご注意ください。基本的には、ユーザー様が初期設定から変更を検討する部分は、

各入力の呼び出しボタンの変更

各入力の画質調整

リヤモニター出力設定

このぐらいです。それ以外の部分は当製品取付時にインストーラーが最適な設定で登録してあります。

- iDriveコントローラーのMENUボタンを長押しする事で当製品のMENU画面が表示されます。画面右下にはプログラムVerが表示されます。(リバースアクション状態ではMENU画面表示出来ません)



- iDriveコントローラーのダイヤルを回す事で選択アイコンを移動します。赤枠で表示されるアイコンが現在選択されているアイコンです。車輻起動直後にVEMメニュー画面を開いた場合、ダイヤル操作がしばらく動きません。車輻側が信号の準備状態の為で故障ではありません。
- 赤枠で表示しているアイコンの説明が画面上部に表示されます。
- アイコンカラーがハイトーンで表示されている物は現在、選択決定されている機能状態を表しています。
- アイコンカラーがトーンダウンで表示されている物は選択できない項目を表しています。
- アイコンを選択決定するにはiDriveコントローラーをプッシュします。そのアイコンがハイトーンに変化します。選択決定したアイコンの更に詳細な設定が有る場合は次の階層に自動的に進みます。メニューの階層が変化する時は壁紙もフラッシュします。画面中央には基本的に1つ上の階層のアイコンが表示されます。
※BACKアイコンで1つ上の階層に戻りますが、iDriveコントローラーのBACKボタンでも戻る事が出来ます。BACKボタン動作で戻る時は、アイコン及び壁紙のカラーの変化は有りません。



- ガイドライン設定、画質調整の画面での操作方法
調整するソースの映像が映り、画面上部に設定項目が表示されています。現在選択されている調整項目が赤字で表示されます。移動するにはiDriveコントローラーを左右にスライドします。

赤字選択されている項目でダイヤルを回しますと、その項目が調整され数字が変化します。ご希望の状態になるように各項目を調整します。(画質調整はイルミON/OFFを個別に記憶されます。)

ガイドラインはステアリング連動で動作致しますが、あくまでも目安です。実際のカメラ映像とミラーでの確認を行ってください。

終了するにはiDriveコントローラーのBACKアイコンorBACKボタンで1つ前の階層に戻るか、MENUボタンなどでVEMメニューを終了させます。

- VEMメニューを終了するには、MENU、MEDIA、RADIO、TEL、MAPの何れかを押します。

AV1、AV2、HDMI入力について



入力設定→設定したい入力へ進みます。



その入力を使用するか、使用しないかを選択します。
(使用しないを選択するとそれ以外の項目がトーンダウンします。)
※一度使用しないを選択しますと、呼び出しボタン設定も消去されます。
再度、使用するを選択した場合は呼び出しボタン設定してください。



外部映像表示時に1秒間表示するアイコンです。ご希望のアイコンを設定してください。



現在設定中の入力呼び出すボタンの選択です。複数登録も可能ですが、他の入力で使用されていた場合は上書きされ、先に登録されていた入力ソースでは無効となります。
登録されているボタンはハイトーンで表示されていますが、再度選択決定しますと登録消去出来ます。
呼び出しボタンが1つも登録されていない状態では、その入力の呼び出し方法が無くなりますのでご注意ください。
呼び出しボタンは実際に切り替え動作をさせる時、押す度に画面サイズが変わります。(FULL、MAIN、SUB)
呼び出しボタンにフロントAUXを登録すると、映像と音声をワンタッチで切り換えできるので便利です。



AV1のみです。取付した地デジチューナーに合わせて選択します。
当製品がコントロール出来るチューナーは、データシステム、パイオニア/ユニデン、パナソニック、ヒューマックス、d's Gearです。
※地デジチューナーのリモコン信号が当製品を経由して接続されている必要が有ります。



選択している入力の画質調整を行います。外部映像に切り替わり、画面上部に設定項目が表示されます。
iDriveコントローラーのダイヤル回転で調整、左右スライドで項目移動が出来ます。
設定項目にはCOLOR、BRIGHTNESS、CONTRAST、SHARPNESSがあります。
※HDMI入力には、SHARPNESSの設定は有りません。
※画質調整は、車輻のイلمON/OFF個別に記憶されます。好みの画質に調整してください。

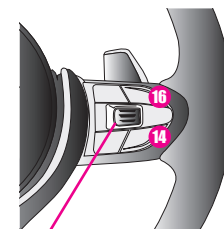
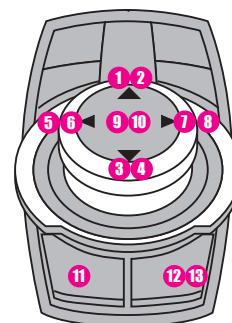
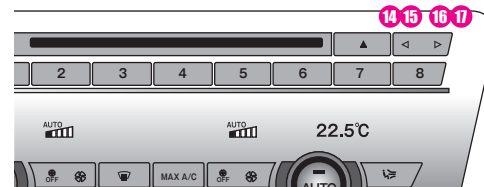
HDMI入力は全てのHDMI機器の表示を保証するものではありません。(480Pのみ対応)
機器によっては表示出来ない場合があります。

HDMI入力は、入力信号が無い時に画面表示動作を致しますと、崩れたような表示が出ます。故障では有りません。

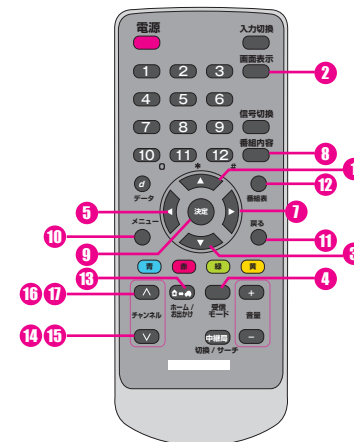
HDMI入力を表示する際に、初回に信号サイズの確認を行う為、表示する映像の横幅が合わない場合があります。
約1秒後に正常なサイズ表示がされます。(本体仕様のため、故障ではありません。)

地デジチューナーのコントロール(パナソニック)

- 地デジをFULL画面で表示中、及びエキスパートモードで使用中は下記の操作が車輻スイッチで行えるようになります。エキスパートモード以外では、純正画面と2画面表示の場合は、純正操作を優先している為、iDriveコントローラーでの地デジの操作は停止します。オーディオ部の左右ボタンは有効ですのでチャンネル操作は可能です。



UP 選局 ↑ ボタン信号
DOWN 選局 ↓ ボタン信号



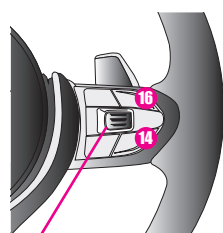
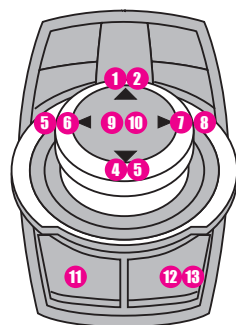
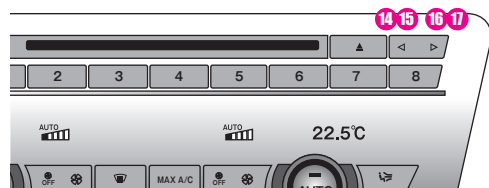
ダイヤル↑スライド	1	短スライド	リモコンの↑ボタン信号
ダイヤル↑スライド	2	長スライド	画面表示ボタン信号
ダイヤル↓スライド	3	短スライド	リモコンの↓ボタン信号
ダイヤル↓スライド	4	長スライド	受信モードボタン信号
ダイヤル←スライド	5	短スライド	リモコンの←ボタン信号
ダイヤル←スライド	6	長スライド	
ダイヤル→スライド	7	短スライド	リモコンの→ボタン信号
ダイヤル→スライド	8	長スライド	番組内容ボタン信号
ダイヤルプッシュ	9	短押し	リモコンの決定ボタン信号
ダイヤルプッシュ	10	2回連打	リモコンのMENUボタン信号
BACKボタン	11	短押し	戻るボタン信号
OPTIONボタン	12	短押し	番組表ボタン信号
OPTIONボタン	13	長押し	ホーム/お出かけボタン信号
オーディオ部←ボタン	14	短押し	チャンネル ↓ ボタン信号
オーディオ部←ボタン	15	長押し	上記ボタンの長押し信号
オーディオ部→ボタン	16	短押し	チャンネル ↑ ボタン信号
オーディオ部→ボタン	17	長押し	上記ボタンの長押し信号
ステアリング部 ↑ ボタン	16	1クリック	選局 ↑ ボタン信号
ステアリング部 ↓ ボタン	14	1クリック	選局 ↓ ボタン信号

青系の背景部分の操作はFULL画面表示時、エキスパートモード時のみ有効です。

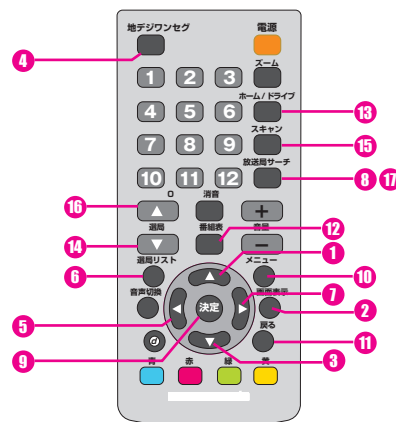
ステアリングスイッチ部で操作しますと、メーター内に純正操作内容が表示される仕様となっています。
FULL液晶メーターパネル装備車輻は、タコメーター部に表示されますのでその間タコメーターが消えます。

地デジチューナーのコントロール(パイオニア/ユニデン)

地デジをFULL画面で表示中、及びエキスパートモードで使用中は下記の操作が車輻スイッチで行えるようになります。エキスパートモード以外では、純正画面と2画面表示の場合は、純正操作を優先している為、iDriveコントローラーでの地デジの操作は停止します。オーディオ部の左右ボタンは有効ですのでチャンネル操作は可能です。



UP 選局 ↑ ボタン信号
DOWN 選局 ↓ ボタン信号



ダイヤル↑スライド	1	短スライド	リモコンの↑ボタン信号
ダイヤル↑スライド	2	長スライド	画面表示ボタン信号
ダイヤル↓スライド	3	短スライド	リモコンの↓ボタン信号
ダイヤル↓スライド	4	長スライド	地デジ→ワンセグボタン信号
ダイヤル←スライド	5	短スライド	リモコンの←ボタン信号
ダイヤル←スライド	6	長スライド	選局リストボタン信号
ダイヤル→スライド	7	短スライド	リモコンの→ボタン信号
ダイヤル→スライド	8	長スライド	放送局サーチボタン信号
ダイヤルプッシュ	9	短押し	リモコンの決定ボタン信号
ダイヤルプッシュ	10	2回連打	リモコンのMENUボタン信号
BACKボタン	11	短押し	戻るボタン信号
OPTIONボタン	12	短押し	番組表ボタン信号
OPTIONボタン	13	長押し	ホーム/ドライブボタン信号
オーディオ部←ボタン	14	短押し	選局 ↓ ボタン信号
オーディオ部←ボタン	15	長押し	スキャンボタン信号
オーディオ部→ボタン	16	短押し	選局 ↑ ボタン信号
オーディオ部→ボタン	17	長押し	放送局サーチボタン信号
ステアリング部 ↑ ボタン	16	1クリック	選局 ↑ ボタン信号
ステアリング部 ↓ ボタン	14	1クリック	選局 ↓ ボタン信号

青系の背景部分の操作はFULL画面表示時、エキスパートモード時のみ有効です。

ステアリングスイッチ部で操作しますと、メーター内に純正操作内容が表示される仕様となっています。FULL液晶メーターパネル装備車輻は、タコメーター部に表示されますのでその間タコメーターが消えます。

Camera 1 設定について



AV入力側と共通の設定項目については割合させて頂きます。3ページを参照してください。



カメラの呼び出しボタンは、MENU2回連打orVOICE2回連打で可能です。(Camera2と重複出来ません)カメラ映像表示中にOPTION2回連打で画面サイズが変わります。(FULL、MAIN、SUB、小窓)
※VOICE2回連打は純正のボイス機能のON/OFFが行われます。作動音が出ます。



リバースアクション設定。車輻をバックギヤに入れた時に当製品にどのような動作をさせるかの設定です。
※この項目内設定はインストーラー以外、変更しない事をお勧めします。



リバースアクション内の設定



後付けバックカメラを取り付ける設定です。リバース時にCamera1に入力した映像をFULL画面で表示します。
※その後、ガイドラインの設定を行ってください。



純正PDCのみ装着車輻に後付けバックカメラを取り付ける設定です。画面右側にPDCイラストが表示されます。
※その後、ガイドラインの設定を行ってください。



純正バックカメラ、純正PDC装備車輻の設定です。外部映像を視聴中でもリバース時に純正画面へ戻します。
※この設定を選択したら、車輻のPDC装着状態の設定を必ず現車に合わせて下さい。(MINI、アクティブツアラー除く)
※PDC設定を間違えたと、動作しない車輻や元に戻れない車輻があります。(元に戻れない場合は一度キーOFF)



純正バックアシスト無し車輻にバックカメラも装着しない場合の設定です。リバース時に何も変化しません。



車輻のPDCの装着状態に合わせて設定して下さい。(MINI、アクティブツアラー除く)
※この設定でCAN信号の中の検査する場所が変わります。間違わないように設定してください。



ガイドラインの設定項目へ進みます。



ガイドライン内の設定



ガイドラインを表示するか表示しないかを選択します。



ガイドラインを表示するを選択した場合、ライン調整画面へ進みます。カメラ映像に切り替わり、調整項目が画面上部に表示されます。iDriveコントローラーのダイヤル回転で調整、左右スライドで項目移動が出来ます。

Camera2設定について



AV入力側と共通の設定項目については割合させて頂きます。3ページを参照してください。

この入力基本的にはアルパイン製Fカメラ用の入力です。この入力をFULL画面表示している場合にiDriveコントローラーを前方へスライドする事で表示パターン切り換えが出来ます。(記憶はされません)



カメラの呼び出しボタンは、MENU2回連打orVOICE2回連打が可能です。(Camera1と重複出来ません)
カメラ映像表示中にOPTION2回連打で画面サイズが変わります。(FULL、MAIN、SUB、小窓)
※VOICE2回連打は純正のボイス機能のON/OFFが行われます。作動音が出ます。



Camera1のリバースアクションで純正画面へ戻るを設定していて、尚且つCamera2を使用する場合に設定可能です。この設定では、車輪リバース時に純正バックカメラ映像+PDC映像の画面の中に小窓表示でCamera2映像を映すかの設定が出来ます。



映さない場合は、NOT USEを選択してください。
映す場合は予め設定されているPDC装着設定アイコンが選択されています。



前後にPDCが装着されている車輪は車輪イラスト中央に小窓表示されます。



後のみPDCが装着されている車輪は車輪イラスト前方に小窓表示されます。

※この状態でのアルパイン製Fカメラは表示パターン切り換え可能です。

リモート信号入力設定について



※この設定はインストーラー以外、変更しない事をお勧めします。

リモート信号を受けて強制的に表示するカメラ入力をCamera1にするかCamera2にするかを設定します。

※この信号を受けて表示するカメラ映像の表示サイズは、最後に表示していた画面サイズで呼び出されます。

※この信号での強制表示は、ACC-ONから10秒間は動作しません。

※この信号を受けて強制表示中に、自らの操作で表示を消した場合は、一旦リモート信号が停止して、再度出力されるまで強制表示は致しません。

リバースアクションについての説明

リバースアクションとは、車輪をバックギヤに入れた時に自動で当製品に設定した命令を行うものです。

例えばAV1などの外部映像を視聴中にバックギヤに入れたとします。リバースアクションが開始され設定した動作を行います。リバースアクションが終了した時点で、元の状態(AV1視聴)に戻るといった動作を行います。

最近の車輪は純正でバックカメラが装着されています。純正のバックカメラの表示は、リバースギヤ連動と言う事では無く制御されています。前後にPDCが装着されている車輪は、バックギヤから抜いてもカメラ映像が継続されます。PDCスイッチでOFFにするか時速10km/h以上の速度を出すか、300m以上走るかで終了します。

後のみPDC付車輪の場合も、バックギヤから抜いてもカメラ映像が継続されます。iDriveコントローラーの操作←スライドで消すが、車輪を前進する事で終了します。

当製品のリバースアクションはこの動作に追従できるように設計していますので、リバースアクション設定が少し複雑になっています。

当製品がリバースアクション中の純正画面上には、黄色い文字でリバースアクション中が判るようにしてあります。リバースアクション中はVEMメニューの表示など他の操作は出来ません。リバースアクションが終了した時点で元の画面に戻ります。

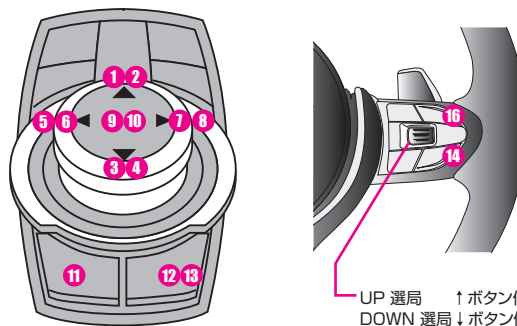
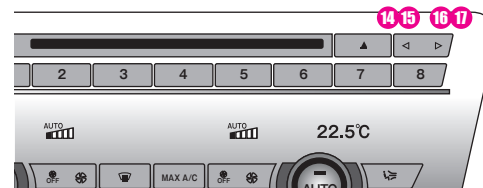
※MINIやアクティブアラームは、純正の状態を監視できる信号が検出出来ない為、リバースギヤ完全連動のプログラムとなっています。(例えばAV1をMAIN画面表示で視聴中にバックギヤに入れ、元に戻した際はMAINにAV1が表示されますが、SUBには純正カメラ表示の一部が残るという表示になります。ご了承ください。)

※前後PDC付き車輪の場合、PDCスイッチが装着されていますので、スイッチでPDC-ONにした場合でも、当製品はリバースアクションに入りますので、外部映像視聴中にPDC画面に切り替わらないという事は有りません。

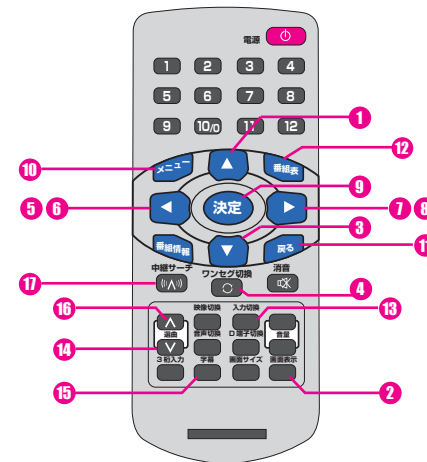
※純正フロントカメラが装着されている車輪では、そのカメラ表示を優先させる事は出来ない為、外部映像視聴中の場合は外部映像が優先表示されたままとります。ご了承ください。

地デジチューナーのコントロール(データシステム)

- 地デジをFULL画面で表示中、及びエキスパートモードで使用中は下記の操作が車輪スイッチで行えるようになります。エキスパートモード以外では、純正画面と2画面表示の場合は、純正操作を優先している為、iDriveコントローラーでの地デジの操作は停止します。オーディオ部の左右ボタンは有効ですのでチャンネル操作は可能です。



UP 選局 ↑ ボタン信号
DOWN 選局 ↓ ボタン信号



ダイヤル↑スライド	1	短スライド	リモコンの↑ボタン信号
ダイヤル↑スライド	2	長スライド	画面表示ボタン信号
ダイヤル↓スライド	3	短スライド	リモコンの↓ボタン信号
ダイヤル↓スライド	4	長スライド	ワンセグ切替ボタン信号
ダイヤル←スライド	5	短スライド	リモコンの←ボタン信号
ダイヤル←スライド	6	長スライド	リモコンの←ボタン長押し信号
ダイヤル→スライド	7	短スライド	リモコンの→ボタン信号
ダイヤル→スライド	8	長スライド	リモコンの→ボタン長押し信号
ダイヤルプッシュ	9	短押し	リモコンの決定ボタン信号
ダイヤルプッシュ	10	2回連打	リモコンのMENUボタン信号
BACKボタン	11	短押し	戻るボタン信号
OPTIONボタン	12	短押し	番組表ボタン信号
OPTIONボタン	13	長押し	入力切替ボタン信号
オーディオ部←ボタン	14	短押し	選局↓ボタン信号
オーディオ部←ボタン	15	長押し	字幕ボタン信号
オーディオ部→ボタン	16	短押し	選局↑ボタン信号
オーディオ部→ボタン	17	長押し	中継局サーチボタン信号
ステアリング部↑ボタン	18	1クリック	選局↑ボタン信号
ステアリング部↓ボタン	19	1クリック	選局↓ボタン信号

青系の背景部分の操作はFULL画面表示時、エキスパートモード時のみ有効です。

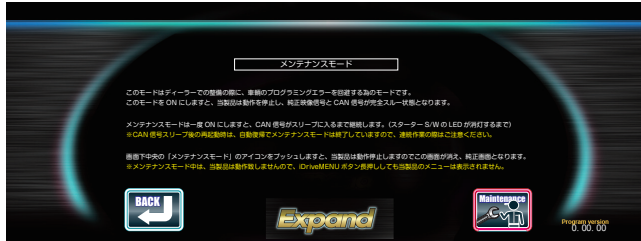
ステアリングスイッチ部で操作しますと、メーター内に純正操作内容が表示される仕様となっています。FULL液晶メーターパネル装備車輪は、タコメーター部に表示されますのでその間タコメーターが消えます。

メンテナンスモードについて

このモードはユーザー様が操作する事は有りません。

BMWメカニックの方へ

当製品は装着により、車輛CAN通信へ介入します。
OBDコネクタにテスターなどを繋ぎ、車輛プログラミングを行う際は、このメンテナンスモードに入れてから行って下さい。
メンテナンスモード中はモニターケーブル信号、CAN信号線が当製品をスルーで出力となり、バイパス状態となります。
当製品は動作を完全停止しますので、MENUボタン長押ししてもVEMメニューなどは表示されません。
この状態で車輛プログラミングを行う事で、エラーを回避出来ます。
メンテナンスモードは、CAN信号がスリープに入り、次回車輛起動時の運転席ドアの開閉を行うまで継続されます。
運転席ドアの開閉後は通常起動となり、メンテナンスモードは終了します。



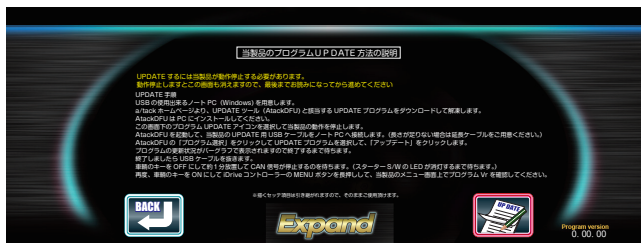
UPDATEモードについて

当製品は付属のUSBケーブルを使用してノートPCなどと接続して本体ファームウェアのプログラムUPDATEが行えます。
細かなバグ修整や新たな機能などを追加して弊社HPで公開しますので、製品取り付け後も、最新の機能でお使い頂けます。

UPDATE方法

- 弊社HPより、DFUドライバーをダウンロードしてPCIにインストールします。(Windowsのみ32Bit, 64Bitが有ります。)
- 弊社HPより、A/tackDFUツールをPCIにインストールします。
- 弊社HPより、最新のプログラムDFUファイルをダウンロードして解凍します。
- A/tackDFUツールを起動します。
- 当製品のUSBケーブルとPCを接続します。
- 当製品のVEMメニューからUPDATE画面に入りUPDATEアイコンを押しします。
- iDriveモニターが純正画面に戻り、PC上のA/tackDFUツールで「デバイスが接続されました」となります。
- A/tackDFUツールの「ファームウェア選択」をクリックして準備した最新のDFUファイルをマウントします。
- A/tackDFUツールの「アップデート」をクリックします。消去、書き込み、検査と進行します。
- A/tackDFUツールに「ファームウェアが一致します。」と表示されれば終了です。
- USBケーブルをPCから抜きます。当製品が新しいプログラムで起動します。
- iDriveコントローラーのMENUボタンを長押ししてVEMメニューを開き、プログラムVerを確認します。

※ 当製品はUPDATEを行っても、以前のメモリー状態は保持されます。新機能が搭載された場合はその項目はデフォルト状態となります。
(場合によっては更新プログラムで設定を初期化しなければならない事も考えられます。その際はUPDATEプログラム公開時にご案内致します。)



リヤモニター出力設定



リヤモニター出力には、基本的にはAV1、AV2、HDMIに入力して選択しているソースが表示されます。
外部AV機器を選択していない時は任意に純正映像の出力に切り替える事が可能です。
基本的にはiDriveコントローラーのMEDIAボタンから純正ソースを変更する操作でリヤモニター出力は純正映像に切り替わります。

純正映像の出力サイズは3パターン用意しています。



純正映像のMAIN画面部分のみをリヤモニターへ出力します。
純正iDriveシステムを2画面表示で使用している場合の設定です。



純正映像のセンター部分をリヤモニターへ出力します。
純正iDriveシステムを1画面表示で使用している場合の設定です。
この場合、純正DVDや純正TVは左右に黒帯が出てセンターに映像が表示されます。その部分を出力します。
※純正DVDをワイド表示している場合は除く。



純正モニターに映る映像を全てリヤモニターへ出力します。
BMWのモニターと社外モニターの縦横比が異なる為、リヤモニターでは左右を縮めた映像となります。



リヤモニター出力を純正映像に切り替える操作をプログラムボタンに割り振る事が出来ます。
この呼び出しボタンに純正DVDなどを登録しますと、リヤモニターもワンタッチで切り替わりますので便利です。
また複数ボタン登録で純正DVD、純正TVなども可能となります。

オプション電源出力設定



後付け製品の電源類取得に便利のように電源出力を用意して有りますが、その中のACC出力をON/OFFする事が出来ます。



常にACC連動で動作しなくても良い製品、任意にON/OFFしたい製品の電源管理が出来ます。
※ON/OFFさせる機器を接続した場合使用します。
ACC完全連動製品の電源として使用している場合は、OFFにしないでください。
(地デジチューナーなどの電源として使用している場合は、地デジが映らなくなります。)

Camera 1 用電源出力の設定



※この設定はインストーラー以外、変更しない事をお勧めします。

Camera 1用に用意してある電源ですが、有効利用出来るように出力方法を3パターン用意しています。
※8Vで動作可能な製品用。



Camera連動で出力します。Camera 1に接続するカメラ電源として利用します。
※カメラ接続の場合は必ずこの電源を使用してください。バックカメラ装着で、リバース電源などでカメラを駆動しますと、画質調整やガイドライン調整の際にカメラ映像が映りません。



カメラを接続しない場合、この電源は通常使用しませんが、この設定でCAN信号連動で出力します。
ドライブレコーダーの電源などに利用出来ます。キーOFF停車中でも、CAN信号が起き上がるほどの外部アクションが有った場合、ドラレコが数十秒動作してくれます。



カメラを接続しない場合、この電源は通常使用しませんが、この設定でIG-ONで出力します。
レーダー探知機などの電源として利用出来ます。

VEMセーフティ機能



AV1、AV2、HDMIに接続したAV機器の映像が走行中でも表示を可能にするかどうかの設定です。
※走行中の画面の注視は大変危険です。解除は自己責任でお願いします。
 ※非解除状態では、車両が走行を始めると、純正画面に戻り、画面下に「走行中は表示出来ません」とOSD表示されます。
 停車すると元の状態に戻りますが、走行中に、他の操作などで外部映像視聴モードから出てしまった場合は戻りません。
 その時は画面下のOSD表示が消えてますので確認出来ます。

純正セーフティ機能



この機能は純正側の走行中の制限（純正DVDなどやNAVIの走行中の制限）を解除するかどうかの設定です。
※解除は自己責任でお願いします。
※ディーラー向け製品では、この機能は動作しません。アイコンはトーンダウン表示され選択出来ません。

オペレートモード設定



iDriveコントローラーは純正機能を操作する為の装備ですが、当製品では、この信号を利用して様々な操作を行っています。
 純正モニターに外部映像を映すユニットはモニターの映像表示を乗っ取っているだけで、裏では純正映像がスタンバイしていてiDriveコントローラーの操作で見えない純正映像が操作されてしまうのが通常です。当製品では、iDriveコントローラーが出力する信号を制御しています。外部映像に切り替えている間（純正映像が全て観えない状態）では、コントローラー信号が純正機能を動作させないようにしています。観えない裏で勝手に動く事は有りません。
 BMWのモニターは縦横比が特殊な横長のモニターなので、当製品では、純正映像と外部映像の2画面表示も出来るようになっています。
 この2画面表示の時に、iDriveコントローラーの信号をどちらで使用するかの操作方法の違いで、スタンダードモードとエキスパートモードを用意しています。



スタンダードモードで使用

iDriveコントローラーの信号制御は純正映像の観えない状態（画面全てが外部映像orVEMメニュー）の時のみ行います。この状態の時は裏で純正が動作する事は有りません。
 MAIN画面表示やSUB画面表示などの場合は純正画面操作を優先にする為、コントローラーからの外部機器コントロール信号は停止します。
 この状態でのiDriveコントローラーは純正機能が操作されます。外部機器の映像の裏側部に操作アイコンがある場合は、観えない動きをしますので不用意にiDriveコントローラーを操作しないで下さい。
 オーディオ部やステアリング部からの外部AV機器のコントロール信号は2画面表示中でも有効です。



エキスパートモードで使用

外部AV機器と純正画面の2画面表示の状態でも、iDriveコントローラーからの外部AV機器のFULL操作が可能になります。
 この場合、外部AV機器側、純正画面側のどちらでコントローラーをアクティブにするか、切り替え操作を行う使用方法となります。
 アクティブ切り替え操作はMAPボタンを2回連打する事で切り替わります。アクティブな方の画面端に操作の度にオレンジ色バーが表示されますので視覚的に判断できます。
 このように、アクティブ切り替えを行う必要があるので操作が少し難しくなります。

外部映像2系統同時表示について

当製品は外部映像を同時に2系統表示する事が可能です。
 但し、表示する画面サイズが重複する場合は、先に表示されていた映像は無効となります。Camera小窓表示を選択時はPinPで表示可能です。（AV+AV、Camera+Cameraの表示は出来ません、AV+Cameraの2系統表示です。）
 （2系統表示のままAV画面サイズを変更できるのはCamera小窓画面表示を選択している場合のみ可能です。）

AV映像の表示パターン（切り換えは呼び出しボタンを再度押します。）



Camera映像の表示パターン（切り換えは表示中にOPTIONボタンの2回連打です。）



2画面同時表示が可能なパターン

AV MAIN画面+ CameraSUB画面



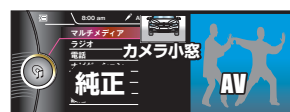
AV SUB画面+ CameraMAIN画面



AV MAIN画面+ Camera小窓画面



AV SUB画面+ Camera小窓画面



AV FULL画面+ Camera小窓画面



カメラ映像を小窓表示している場合のみ、2系統表示をさせたまま、AVの画面サイズ変更が可能です。

各入力の表示サイズは最後に表示していたサイズを記憶します。次回表示時はそのサイズで呼び出されます。
 （AV1、AV2、HDMIは共通サイズで記憶されます。Camera1とCamera2は個別で記憶されます。）